

# 坂門校

～ 輝く薩摩中央 ～

平成30年 8月25日 (土) 南日本新聞

南日本新聞に本校1年生の大隅自然の家「海からのメッセージ」への参加について掲載されたので紹介します。

## 若い目

始良カルデラを一周

薩摩中央高1年

小川 鈴華

私たち1年生5人は、お盆をはさんで、大隅青少年自然の家の「海からのメッセージ」に参加した。この行事は、剣道部の新入部員の登竜門。垂水市の海の家を出発・ゴールとして、6泊7日で錦江湾と桜島を囲む始良カルデラを一周した。カヌーと徒歩で合計約110キロだった。

参加者は小学5年生から高校生までの32人。昨年参加した先輩からすごく大変だと聞いていたので、あまり乗り気じゃなかった。

初日はほとんどカヌー。初めての体験だったので、なかなか前に進まず、オートルをこぐことに一生懸命

だった。私はこの3月まで甌島で育ち、夏はよく海で遊んでいたので日焼けを気にしたことはなかった

が、半ズボンだったせいで両足がやけどのようになり、水ぶくれになって痛かった。

こんなに長い距離を歩くのも初めてで、途中でくじけそうになったが、みんなで励まし合ってゴールすることができ、少しだけ自信がついたような気がする。

私には高校での目標が二つある。部活動で県代表になり県外の大会に出ることと、介護福祉士の国家試験に合格することだ。今回の体験を生かして、目標を達成できるよう、高校生活をがんばっていききたい。

(さつま町)